

印西市国際交流協会だより



IIFA

ひろば

回覧

2022年
(令和4年)
第24号
7月

発行 印西市国際交流協会広報部

ごあいさつ

会長 坂東 昭二



皆さま方と心をつなげて全力で働いてまいります。

今年5月21日に開催された第22回定期総会において会長を拝命しました。2001年の創立以来、当協会は会員を始めとする市民のご協力と印西市及び関係諸団体のご支援によって活動を展開してきましたが、その一層の発展のため、同じくこのたび任命された役員の方々と心をつなげて全力で働いてまいります。

今、世界に目を転じると、核兵器の脅威、気候変動、人権問題など様々な難題が山積しています。それら地球規模の問題に直面したとき、私たち個々の存在はあまりにも小さく無力に見えるかも知れません。しかし、私たちは身近な外国人との交流を通して、この愛する印西の地を日本人と外国人が国籍・出身地を問わずお互いの個性や文化を尊重し合う、真の多文化共生の街に変えていくことができます。私は、このような民間レベルの交流による一地域の多文化共生化とその達成に向けた不断の努力は、一見迂遠な道に見えたとしても、これら困難な問題の解決のための第一歩になるものと信じています。

そのためにも、印西市国際交流協会は、日本人か外国人かを問わず、国際交流や国際親善に興味と関心を抱く一人でも多くの市民の皆さまと一緒に活動していきたいのです。同時に、このような横の広がりとともに、未来に向けて持続的な活動を展開していくためには次代を担う若い世代の参画も不可欠と考えています。私たちは従来の発想に囚われることなく、若い世代を含めた市民の皆さまがより一層活動に参加しやすくなるための具体的方策を検討し、実行に移してまいります。

2年以上に亘ったパンデミックも終焉の兆しがわずかながら見えてきた今、訪日外国人数の回復とともに印西市の新たな住民となる外国人も徐々に増加することでしょう。その中には、ウクライナから避難されてくる方々も含まれ、市をあげての支援が必要になってくる局面も考えられます。私たちが進める、様々な交流イベントの開催、外国人に対する日本語学習支援、各種語学講座の開催、など諸活動の重要性が益々大きくなっていくことは間違いありません。

さあ、市民の皆様、と一緒に国際親善と交流のために汗を流しましょう。皆様のご参加をお待ちしています。

特別寄稿

トンガの仲間たち

顧問(前会長) 吉原 久雄

2022年1月に発生したトンガ近海の海底火山の爆発は、我が愛するトンガ王国に地震・降灰・津波による壊滅的な損害をもたらし、市民生活は大混乱に陥りました。

災害の発生直後、同国農業省のCEO、ドクター・マヌーよりメールを受け取りました。そこには「ご心配ありがとうございます。神のご加護により被害は少なく、死者は3名、私たちは大丈夫です。日本の冬を楽しんでください」と書かれていました。

更に、同国 No.1 の実業家、ミノル・ニシ・ジュニア氏から受け取ったメールでは、「個人住宅と農作物に壊滅的な被害が出ている。畑の回復には数か月かかるだろう。住宅は復旧不可のものもある」と当時の惨状を述べていました。

続いて同じく実業家であるポウシマ・アフエアキ氏からのメールには、「波止場にある当社倉庫は津波を受けたが幸いにも大丈夫。我々は、政府の特別措置で、農作物の集荷と輸出業務を継続している。今は試練の時だ。負けないぞ、トンガより愛をこめて!」とありました。

10年前、JICA シニアボランティアとして同国に派遣され、農業省で輸出農産物の振興業務に携わりながら、彼等との友情を深めた私にとっては、これらのメールの行間からトンガのすべての人々の悲鳴が聞こえてくるようでした。

しかし現在では、ロシアのウクライナ侵攻の報道のため、災害発生より5ヶ月が経過したトンガの復興状況について報じる人はありません。

今、トンガの仲間たちの生活と事業の先行きが明るく希望に満ちたものであることを願う毎日です。



農場で一休み
(左端がポウシマ氏)

印西ワールドフェスト

2022年3月26日、国際交流イベント「印西ワールドフェスト」が印西市立中央公民館で約3年ぶりに開催され、11か国・地域出身の外国人を含む68人の参加者が交流しました。外国人がマツケンサンバを踊り、タイの盆踊り「ラムウォン」やアフリカや欧米で広がっているジェルサレマダンス、印西音頭は全員が輪になって踊りました。またウイグルの民族舞踊、居合の演舞、フラダンス、地元ミュージシャンによる演奏が披露されました。本イベントは大いに盛り上がりました。



フレンドシップ・カフェ



外国人市民と日本人市民の語らいの場であるフレンドシップ・カフェは、毎月第4木曜日の午前10時から、ニュータウン中央駅前地域交流館で開催されています。2021年の前半は、感染症の大流行により中止しましたが、コロナ禍が落ち着きをみせたことから、12月に再開。クリスマスの飾り付けを施した会場でブルキナファソ出身の2人の青年に母国についてのプレゼンテーションを行っていただきました。

太平洋の島国、トンガ王国は2022年1月15日に海底火山の噴火と津波により全島に甚大な被害を受けました。本年2月のフレンドシップ・カフェは、緊急企画として「トンガ王国の自然と生活ー火山噴火の被害復興とコロナ対応」をテーマに吉原前会長にプレゼンテーションを行っていただきました。フレンドシップ・カフェでは、今後も様々な企画を予定しています。

交流バスツアー

恒例の交流バスツアーは「国際交流を楽しむ川めぐりといも煮の集い」として昨年10月23日に開催されました。参加者は、市のバスで中央公民館裏の船着き場に向かい、2艘の舟に分乗して1時間の川めぐりを楽しみました。その後、小林の鳥見神社境内を散策し、道作古墳を見学しました。

小林牧場近くの畑で、落花生の収穫を体験し、農家が運営するふれあい広場で、採れたてのゆで落花生や印西産の野菜をふんだんに使った昼食をとりました。地元バンドの演奏により、クイズや自己紹介が行われ、楽しい交流の一時を過ごしました。アジアやアメリカ、アフリカなど11か国・地域出身の外国人市民が参加しました。



木下南骨董市への出店



当協会は、協会の広報及び会員のボランティア活動の場所とすべく、昨年の10月から木下南骨董市に出店しています。この骨董市の歴史は古く、毎月

第1土曜日にJR木下駅南口商店街で開催されています。

協会の店舗に掲げられた協会旗を見て、会員を始め多くの方々が立ち寄られます。

また、骨董市会場を散策している外国人訪問者には、積極的に声をかけて協会のPRを行っています。私たちが販売している品々は、すべて会員の方々の持ち寄りで、売り上げの一部は協会に寄付をしてくれています。

驚いたことに、イギリスのキャンディーの空き缶や、壊れているかもしれない昔のタイマーなどを買われる方もいます。骨董市は、こちらが売るといふより、訪れる人の思いで品物が買われるのだと、新たな発見をしました。



日本語教室 りぼん

日本語教室りぼんは、2001年5月に活動を開始し、今年で21年目を迎えました。その間、多くの外国人市民が日本語を学び友達を作って、巣立って行きました。

現在では、市内6か所6教室を開設しており、18か国2地域の学習者約70名と22名の支援スタッフ（2022年6月現在）が共に活動しています。各教室とも学習者のレベルや目的に沿った様々な活動を通して、友達作りや生活に必要な生きた日本語を学んでいます。希望があれば個人授業・オンライン学習もできます。

日本語が話せない人、日本語は話せるけれど、ひらがなやカタカナが読めなくて困っている人、日本語の会話が上手になりたい人が近くにいたら、りぼんを紹介してください。りぼんの仲間とスタッフが待っています。



木曜日クラス
玲 偉華

~~~~ 印西市の生活 ~~~~

私は中国から来た最初の3年間は、新宿の大久保に住んでいました。次は印西市に引っ越しました。印西市は緑が多くて空気が新鮮で静かな街です。公園とか、スーパーとか、銀行とかが、家の近くにあつてとても便利です。日本の人もとてもやさしくて親切です。日本の生活はうれしくて、だんだん慣れました。

10年前に夫は、印西市で料理店を開きました。私はずっと店を手伝って、毎日忙しくて勉強の時間がないです。料理の日本語は少しだけわかります。今、二番目の娘が4歳ですが、私は忙しくても日本語が勉強したいです。

毎週木曜日に公民館で日本語を勉強しています。やさしい川喜田先生が日本語を教えてくださいます。

また、ユーモアのあるアンドレさんと一緒に勉強できて楽しいです。

~~~~~

木曜日クラス 江藤 アンドレ

~~~~~ 日本 の 経 験 ~~~~

私は、江藤アンドレと申します。ブラジルで生まれました。今は、20歳以上です。今回はまだ1年たちませんが、日本に住んでいます。前に日本各地に住んでいました。神奈川県や静岡県などに住んでいました。初めて千葉県に住んで働いています。初めて日本語をまじめに学んでいます。日本の文化は、私にとっておもしろいです。日本の女性も。

実は日本の女性だけでなく、東洋の女性もおもしろいです。私は、運がよかったです。りっぱな先生が、日本語を教えてくださいます。本当に感謝しています。

Facebook 始めました  
是非こちらから最近の活動を  
ご覧下さい。



~~~~ 印西市最高です! ~~~~

私は香港出身のミュージシャンです。ドラムを演奏しています。私の妻が日本人なので、結婚を機に日本へ引っ越してきました。

私の育った香港は大都市で人口もとても多いです。米国ニューヨークの音楽学校で音楽を学んでいた頃はニューヨークに住んでいたのですが、どちらも朝まで賑やかな印象でミュージシャンにはとても魅力的な街でした。東京にも演奏をしに度々行くのですが、印西市に戻ってくると、とてもリラックスできます。

当初は演奏の仕事で海外へ行き来できるようにと成田空港の近くに家を探していたのですが、はじめて印西市に足を踏み入れた時に感じた澄んだ空気と、何も邪魔をするものがない広くて大きなあおぞらが気に入って「ここにしよう!」と即決していました。移住後も印象は変わらず、印西市の施設やお店は清潔で、街には緑が多く、子育てにもとても良い環境だと思います。

日本語教室の先生達もとても親切で今では印西市が大好きです。

少し残念な事をあげるとすれば、香港やニューヨークと違って21時以後にはほとんどのお店が閉まってしまうことです。もし印西市にライブハウスができて、街の人達と音楽を通して交流できるようになったら、きっともっと楽しいだろうなと思います。



国際交流サロン（仮称）開設のご案内

当協会の事務所は、印西市大森 3370 おおもりまちづくり会館内にあります。昨年4月、こちらに事務所を構えることができ、現在、協会の事務や語学講座、会議等に使われています。今年、さらに、会員が集い外国人との交流や、会員間の親睦を図る場所として、同事務所内に国際交流サロン（仮称）を開設することを決定し、9月オープンに向けて準備中です。このサロンには、テーブル、いす、コンピューター、モニターが備えられ、様々なジャンルの書籍やDVD等も利用できますので、ぜひ、気軽に訪れていただけたらと思います。

また、簡単な調理もできますので、例えば外国映画の鑑賞の後のお茶会、ミニ外国料理体験等に利用していただけます。この国際交流サロンについては、会員からの活動の提案、及びボランティアとしてお手伝いしていただける方を募集しています。詳細については、当協会までお問合せください。国際交流サロンの正式名称についてもご提案をお待ちしています。

外国語講座

韓国語講座

木曜日 初中級クラス
10:30~12:30 中央公民館



講師：キム ナムスク先生（釜山）

受講生の多くは、5年以上の学習歴があります。中級レベルのテキストを使って、会話、文法中心に学べます。講師は、受講生から教え方が非常に上手であるとの評判です。協会での講師歴は10年以上です。初級レベルの方へも親切に教えていただけます。

英会話

金曜日 初級クラス
10:00~12:00 中央公民館



講師：テリー先生（米国）

簡単な英会話がすでにできる人を対象に、週ごとの自分の出来事の発表を中心に、質疑応答をしながら会話を発展させます。講師は、アメリカ人でリラックスしたクラスの雰囲気です。ときおり、中学3年程度のプリントでの学習があります。

英会話

水曜日 中級クラス
10:00~12:00 中央駅前地域交流館



講師：マリー先生（カナダ）

受講生の英語学習歴は5年以上です。会話を中心に授業をすすめ、受講生は英会話を楽しんでいます。インターネットによる時事トピックスを題材とした会話練習もあります。講師は、協会の講師歴10年以上のベテランで、受講生に人気があります。

中国語入門

月曜日 11:45~13:45
協会事務所（大森）



講師 関村 咲江先生

入門コースですが、受講生の意欲が高く初級と言えるレベルに達しています。YouTubeを使って中国や台湾へのバーチャル旅行を満喫したり、テキストを使っての会話学習などを行います。講師は、中国語ガイドの資格を持ち、中国、台湾への留学経験があります。

英語入門

月曜日 14:00~16:00
協会事務所（大森）



講師 川喜田 英博先生

学校を卒業してから英語に触れることのなかった人を対象に、中学生の文法、発音、リーディング、会話練習等を行います。講師は、海外駐在歴30年の日本人です。海外の国の文化事情なども含めて楽しく勉強しています。

韓国語入門

月曜日 09:30~11:30
協会事務所（大森）

講師 川喜田 英博先生

韓国文字ハングルの発音、書き方から始め、簡単な挨拶、会話の初歩を学びます。韓国文化紹介のYouTubeなども使って学習します。

日本語教室りぼん

一緒に日本語を勉強しませんか
Let's study Japanese together.
For inquiries & Applications:
你想不想跟我们一起学日语?
询问和报名:



印西市国際交流協会

〒270-1327 千葉県印西市大森 3370 おおもりまちづくり会館内
TEL 070-5519-1661

ホームページ: <https://www.inzaiifa.org> E-mail: inzai.ifa@gmail.com